



有効に利用
したい……
深沢謙次さん
(公民館長)

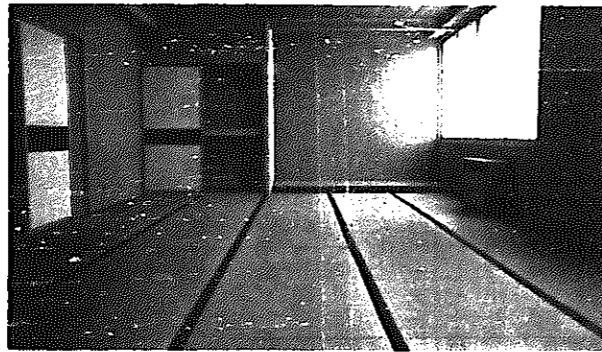
茨曾根地

区公民館が完成

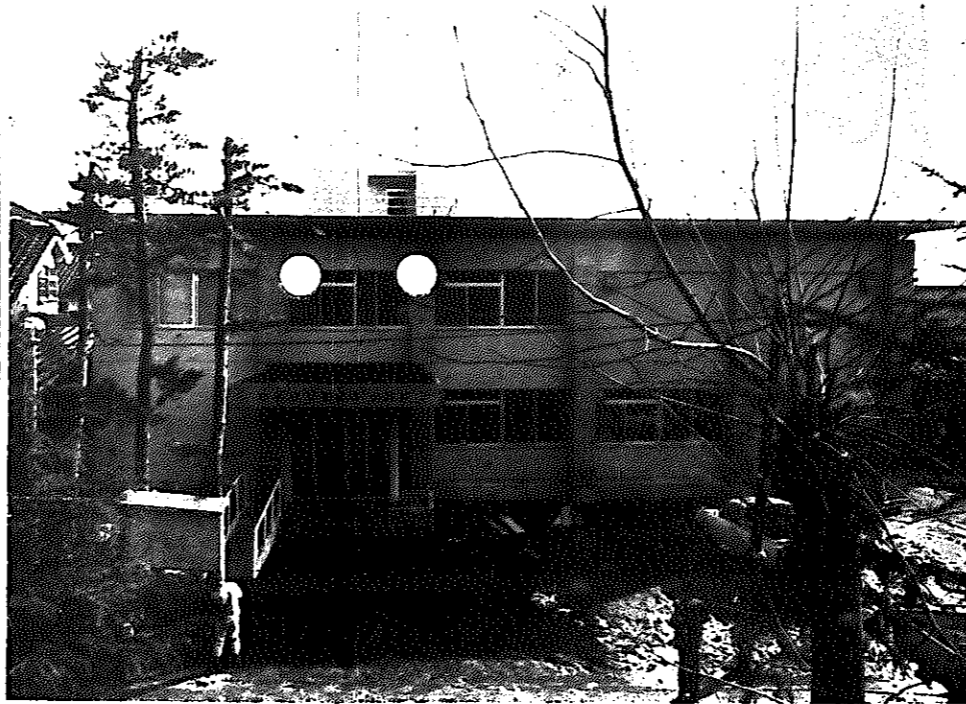
コミュニティづくり の“城”に

立派な施設をつくってもらい感謝しているんです。地区民も喜んでます。これまでは、何かをしようにも館がなく、不自由していましたからネ。

この施設を有効に利用して、みんなできついでに茨曾根を、つくって行きたいと思っています。



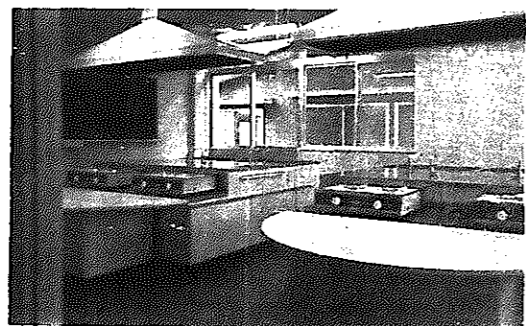
▲90人が研修できる1階の和室



▶引越しのひととき——新しい地域づくりの息吹がここに……

施設紹介

敷地面積は700㎡ ■鉄筋コンクリート2階建て ■工費は3,610万円
<1階> 90人収容できる和室・料理実習室・図書室・応接室・事務室など
<2階> 140人収容できる視聴覚室・グループ活動室・研修室など……



▲モダンな料理実習室

地域生活センターを 活動の拠点に

「コミュニティづくりも同じで「私たちが住んでいるところを離れたくない、住んでよかった」そんな地域を、皆さんのふれ合いの中から育てていきたい……」
これがこの運動の大きなねらいです。

そのため市では、コミュニティが自然に生まれ育ってくるような、環境や条件を整えるために力を注いで行きます。

その第一歩として、本年度から各地区に滞在室と公民館を併設した「地域生活センター」を建設する計画で、現在、取り組んでいるわけです。

そして将来は、センターの運営や管理などは皆さんから行ってもらう、コミュニティのねらいである——

「そこに住む人すべてが地域住民としての自覚を持ち、自主性のある活動を行い、人と人との心のつながりの深い地域社会」を、皆さんみずからの力で実現してほしいと考えています

コミュニティとは……

生活や仕事、学問、スポーツ趣味などで共通の心を持ち、それを同じ立場に立って行おうとする人たちの集りを、コミュニティ（近隣社会、地域共同体）と呼んでいます。

今日コミュニティづくりは、国や私たち地方自治体にとっては大きな課題として、取り上げられてきています。高度成長によって、都市化が急激に進む中で、私たちの価値

必要な コミュニティづくり

市では、コミュニティ（近隣社会）づくりをおし進める公民館（四月からは地域生活センターと改称）を、各地区につくる計画を立てていますが、その第一号として、茨曾根地区公民館が完成——二十二日、地元の人たちの手で竣工祝賀会が行われました。来年度は、庄瀬地区につくる予定で、市と地元との話し合いが進められています。

親も大きく変化し、隣近所との付き合いもあまりなくなってきました。

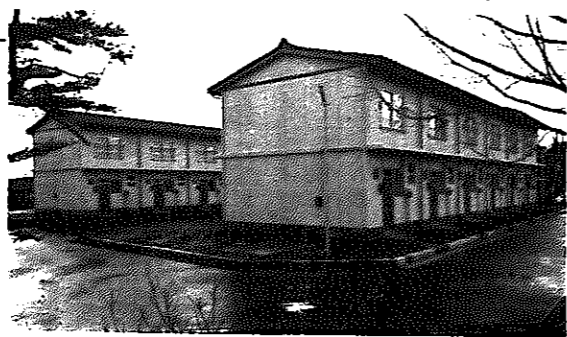
これらの現象は、これまで培われてきた地域社会における親睦や、相互扶助などの共同体的な秩序と連帯を失わせ、逆に「住みにくい地域社会」にしてしまっています。

ふれ合いの中 から育てて

少し古い話になりますが「国づくり」とか「人づくり」とかさかんに提唱された時代がありました。

これは、当時の社会的なムードから、かもし出されたものですが、人が国や社会をつくっている単位であり、おおもとはからです。

新鰐瀨市営住宅も



来年度も 十五戸建設

昨年の八月から工事を進めてきた、新鰐瀨市営住宅十二戸が完成しました。

これは、所得が少なく住宅に困っている人のために、鰐瀨地内に建設したもので、家賃は月額一万三千元です。来年度も、皆さんが安定した生活を送れるよう、引き続き同地区内に十五戸建設する計画です。